

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 民生博愛会

T. O. S い き が い

1. 総括

当初予算において、一日平均23.0名を見込みスタートしたが、新型コロナウイルス感染の影響で欠席される利用者が増え、最終的に一日平均16.2名という結果でした。

新型コロナウイルス感染を警戒し活動を控え欠席する利用者が最も多く、4月は一日平均19.7名でしたが以降、この数字を超える月はなく、令和4年2月には一日平均9.6名と最低となりました。また、6月頃より介護移行や基礎疾患による利用中止者が目立ち始め、収入は対年比91%となりました。

利用登録者数は年度当初122名であったが、年間通して新規利用者が11名、利用中止者が22名で、最終的には111名となった。介護施設へ入所された方がもっとも多く、その他、長期の入院及び死亡された方が要因と考えられる。

次年度の目標は再度21.0名で設定し、以下の重点目標の反省も活かして再度取り組みたい。

～重点目標（令和3年度）～

① 既存利用者の出席率向上の取組み、そして新規利用者の獲得

新型コロナウイルス感染を恐れての欠席者が最も多く出席率を悪化させる一番の要因となっております。利用者は活動での感染防止対策は万全にしていることを理解してくれておりますが、御家族からの利用を見合わせる意見が多数あり、利用者も欠席せざるを得ない状態でした。また、基礎疾患の悪化、骨折、病気による死亡等で出席率を飛躍的に向上できませんでした。まん延防止措置が終了する頃（令和4年3月頃）より、新規問い合わせが数件来ておりますので、このチャンスを機会に新規利用者獲得に努めます。

次年度は、現利用者への口コミによる紹介を中心に、新規利用者の獲得をするとともに、各関係機関への周知活動も同時に行います。

② 利用者に「また来たい」と思ってもらえる活動

利用者が活動中は常に笑える話題作りを中心に何気ない会話やゲーム、そして、体操等を通して楽しんでいただけるような活動作りをしました。

ゲームに関しては、「今日のゲームは何ですか?」「来週のゲームは?」と質問が来るくらい楽しみにしていただいております、体操については、基本的な体操に同時に2種類の運動を加え頭を使いながら歓声も上げて体操をされています。

利用者が常に笑いと話題、運動機能の維持ができる活動を行い、「次回は楽しみ」「また、来たい」と思って感じていただける活動を実践します。

次年度も引き続き継続します。

③ 北斗市や包括支援センター・利用者家族との連絡・協力体制

利用中に変化が見られた場合、利用者からの相談があった場合には、担当ケアマネージャーに報告・連絡・相談をし、改善する事に努めました。また、利用者家族にも連絡を取り、利用者の状況の把握にも努めました。次年度も継続していきます。

④ 感染予防対策の徹底

事務所での毎朝の業務連絡の際や活動会場での職員への引継ぎや注意喚起で安全対策（事故防止）、感染予防の徹底を指示し、利用者の安全確保等の対策を実施。また、感染症の対策として、活動会場へ入場する前と、トイレから戻った際にアルコール製剤で手指消毒の徹底を実施。送迎時には乗車前に手指の消毒と検温、活動会場へ到着後にも手指の消毒と検温を実施しました。また、送迎車輛も送迎完了後、座席及び手摺など利用者が手を触れた場所をアルコール製剤で消毒を実施し、感染予防の徹底をしました。

今後も継続して安全対策・感染予防に努めます。

⑤ 職員の資質の向上

毎月の各テーマの研修を通じ、資質の向上に努めました。また、今年度は、レクリエーションの研修会に参加をし、学んだ内容を活動で実施。次年度は必要と思われる職場外研修にも積極的に参加し、更なる資質の向上を目指し、利用者に還元したいと思います。

⑥ 個人情報保護の管理体制

個人情報の扱いは十分に気をつけて行なっております。次年度も継続します。